

<応用情報技術者試験 講評>

【午前】

テクノロジ系で出題された約 60%は、基本情報の重要キーワードを正確に理解していれば解ける問題で、計算問題も公式を覚えなくても過去問題で練習すれば解ける問題です。計測・制御に関する問題(問 3、問 4、問 13 など)やシステム LSI など構成部品の問題(問 23、問 25)、コンピュータグラフィックスに関する問題(問 27)などは、試験対策では後回しにされがちな分野ですが 6 問程度の出題があります。「レベル 3 シラバス」に記載された用語例を中心に覚えれば確実に得点できる分野といえるでしょう。

DSP(問 23)やシステム状態の視認性(問 26)、USB ワーム(問 43)といった目新しい用語も出題されましたが、テクノロジ系全体でみれば、重要キーワードを問う素直な問題が多く、難易度は低いと推測します。

マネジメント系のプロジェクトマネジメントでは、WBS、PMBOK、アローダイアグラムなど定番問題が出題され、IT サービスマネジメントでは、問題を理解すれば解ける計算問題でした。システム監査は、基本となる用語の意味を問う問題で、マネジメント系全体では難解な問題はなかったと思います。

ストラテジ系では、SCM の改善指標(問 65)や標準原価計算の手続き(問 76)など、多少、難易度が高い出題もありましたが、ほとんどが重要キーワードを問う問題です。

今回の試験を分析すると、下記のようになります。

分野	分類	2010/10		2010/04	
		出題数	全体比率	出題数	全体比率
テクノロジ系 (49 問)	基礎理論	7	9%	8	10%
	コンピュータシステム	18	22%	16	20%
	技術要素	18	22%	17	21%
	開発技術	6	8%	8	10%
マネジメント系 (11 問)	プロジェクトマネジメント	5	6%	4	5%
	サービスマネジメント	6	8%	7	9%
ストラテジ系 (20 問)	システム戦略	6	8%	5	6%
	経営戦略	7	9%	9	11%
	企業と法務	7	9%	6	8%

午前全体をとおして、複雑な計算問題や難解な問題はなく、重要なキーワードを確実に理解し、計算問題に落ち着いて取り組めば、成果を出しやすい問題だったと感じます。時間難易度、内容難易度共に前回と比較して「普通～やや易しい」と分析します。

## 【午後】

午後の出題は次の内容でした。

- 問1 販売戦略
- 問2 構文解析
- 問3 在庫管理
- 問4 Web システムの性能評価
- 問5 ネットワーク障害の原因と対策
- 問6 販売管理システム
- 問7 携帯電話への録音機能追加
- 問8 Cascading Style Sheets (CSS) を用いた Web システムの設計検疫ネットワーク
- 問9 ソフトウェアパッケージ開発プロジェクトでの品質管理
- 問10 バックアップ
- 問11 システムテストの監査

## [問 1 と問 2 で 1 問選択]

経営戦略(問 1)は、新商品の販売戦略に関する問題ですが、専門的な知識はほとんど不要で、問題文を読み解ければ、解答すべき内容を導き出せる問題です。

プログラミング(問 2)は、提示された構文規則をもとに、構文を検査するプログラムに関する問題で、提示された構文規則を理解したうえで、プログラムのアルゴリズムを理解して解答する必要があります。難解な構文規則、アルゴリズムではありませんが、時間的な制約で、落ち着いて取り組めたかどうかで成否を分ける問題だと思います。

## [問 3 から問 12 で 5 問選択]

問 3(経営戦略)は、適切な発注点や発注サイクルの見直しなどを本文から読み取るものですが、計算式は提示されているので、問題をよく読めば解答できる問題です。

問 4(システムアーキテクチャ)の M/M/1 モデルを絡めた問題や問 11(IT サービスマネジメント)のバックアップの問題は計算が主体で、問 12(システム監査)は、監査の基本的な流れが分かるかどうかで解答のポイントになります。

一方、問 5(ネットワーク)では無線 LAN の設定知識、問 6(データベース)では、ストアドプロシージャを想定したアルゴリズムの理解、問 8(情報システム開発)では、XHTML や CSS の基本知識が必要です。

応用情報の午後問題は、問題文の量が多いため、時間配分が大切になります。

問 5 や問 6、問 8 のように基礎知識がないと解けない問題もありますが、時間難易度や内容難易度は共に前回と「ほぼ同じレベル」と分析します。